

私たちのクレド

クレド 1

私たちはこのクレドに表現する価値観を受け入れます。
そしてこの私たちのクレドに基づき判断、行動します。
ティースデンタルオフィスのスタッフメンバーの信条です。

私たちのクレドとはティースデンタルオフィスで働く者の基本的な考え方であり、
行動基準・判断基準・価値基準です。

決してマニュアルではありません。

マニュアルの方がより早く、
正確にやるべきことを、伝えられます。

しかし、マニュアルで育ったスタッフは応用が利かず、
あらゆることに指示が必要な、指示待ちスタッフとなります。

基本的な考え方であるクレドは
今日聞いて明日使えるといったものではありません。
何度も何度も繰り返し磨き、口にし、考えることで、
自然と身に付き、それに添って行動することができるようになります。

このクレドの考えを基に、自分で行動する
自立型スタッフを育成するものであるところが
マニュアルと決定的に異なるところです。

私たちのクレドを受け入れることは、
ティースデンタルオフィスで働くための、唯一の条件だと思います。

受け入れられないということは、
働くべきではありません。

私たちのクレドという、共通の価値観を持ったスタッフメンバーが

“感動を与え続ける歯科医院”、

“感謝の言葉が溢れる歯科医院”

“ワクワク楽しい歯科医院“

というビジョンに向かうことが

ティースデンタルオフィスのミッションです。

たとえ全て実現できなくともこのクレドを自分たちのものとして受け入れることができ、
それを目指す気持ちを持ち続けることが大切です。

私たちのクレド

クレド2

私たちは変わることのない医院理念を尊重し実践します。
私たちの医院のミッションは、患者様の心の健康につながる医院作りをすることです。
私たちの最高の幸せは、より多くの笑顔に出会うことです。

歯科医院での仕事は、虫歯や歯周病といった歯科疾患を治すことです。
しかし、困りごとを治すだけでは心の健康にはつながりません。
私たちはそれを予防につなげ、患者様のお口の困りごとをなくしたいと願います。
しっかりと噛むようになることで、食事を美味しく食べられるようになり、
さらには、全身的に健康になってほしい。
また、おしゃべりが楽しくなり、笑顔に自信がもてるようになり、
患者様の生活が、豊かになって欲しい。
歯科医療を通じて、患者様の豊かな生活に寄与することを目指します。
来院時にも満足して頂き、またの来院も楽しみと言って頂けることを目指します。
私たちはティースデンタルオフィスを笑顔で満たされるように努力します。
笑顔は周りの人を幸せにします。
笑顔を作ることで自分自身も幸せな気持ちになります。
普通の顔でいるより、口角を上げて笑顔でいるほうが、脳が楽しいと感じます。
患者さんの心の健康につながる医院作りをして、そしてより多くの笑顔に出会うためにも
まずは私たち自身が心身ともに健康で、常に笑顔を心掛けてまいります。

私たちのクレド

クレド3

私たちはスマイル・アンド・コミュニケーションを大切にします。

笑顔は楽しいから出るではありません。

笑顔を作ること、楽しくなるのです。

そしてコミュニケーションは、笑顔のあいさつから始まります。

どんな時も私たちはスマイル・アンド・コミュニケーションを忘れることはありません。

笑顔は楽しいから出るではありません。

笑顔を作ること、楽しくなるのです。

このフレーズは私たちのクレドで最もよく引用されます。

笑顔の人と接して嫌な思いをする人はいません。

笑顔の人にはつい笑顔を返しますし、対応も良くなります。

つまり笑顔の人はいい思いばかりして、よりさらに笑顔になります。

一方、しかめっ面の人には周りの人も笑顔になれず、対応も悪くなるでしょう。

時には、クレームになることもあるでしょう。

つまりしかめっ面の人は嫌な思いばかりして、ますます、しかめっ面になります。

「笑う門には福来る」と言いますが、笑うことで免疫力がアップする効果があります。

私たちは積極的に口角をあげて常に笑顔でいることを心掛けます。

そうして自然に、私たちの周りにも笑顔になります。

笑顔の人を周りにたくさん作りましょう。

そして、もっと楽しくなり、ますます笑顔になりましょう。

ティースデンタルオフィスはこれからも口角をあげて笑顔の発信源であり続けます。

私たちのクレド

クレド4

私たちは、魔法の言葉を使って患者様を心からおもてなしをして感動を創造します。

「(患者様のお名前)さま、お待ちしております」

「いつもご来院頂きありがとうございます」

「お困りごとはどうぞ私たちに何でもお聞かせください」

「私たちに任せてください」

「本当に頑張って頂きありがとうございます」

「お気を付けてお帰りくださいませ」

言葉は癒しです。

そして、自分自身にも問いかけます。

「明るく、楽しく、個性的に、優しく、カッコよく」

私たちは、必ず笑顔で患者様のお名前をお呼びします。

いかなる場面でも心からの温かい言葉でご挨拶を心掛けます。

言葉の持つ力はすごいです。

この言葉を毎朝鏡の前で呪文のように唱えるだけで元気がみなぎります。

信じる、信じないはあなた次第です、

信じる心、やり続ける心、素直な心をもつ私たちはその効果を実感出来ます。

コトダマ（言霊）という言葉があるように、心を込めて言葉を発すると、

それ自体に、意味を持つようになります。

そして、自らの意思で行動できるようになります。

私たちは魔法言葉を使い続けていきます。

来院される患者様は数多くある医院の中から私たちに信頼を期待しいらしているのです。

私たちにとって患者様お一人お一人が大切なお客様であり、感謝を忘れてはなりません。

患者様の個性を尊重しお帰りになる際のお見送りまで思いやりを持った行動を取ります。

長崎県雲仙市の鶴田先生は常にもこのようにおっしゃいます。

「あなたの仕事はたった一人でもいいので

今日この医院に来て本当に良かった、という患者さん“心の通う友人”

を作ること」。

私たちのクレド

クレド5

私たちは患者様に感動を与えるおもてなしをします。
そのためいつも患者様が何を望んでいるのかを考えます。
初めは、小さなことから行い確実に実行できるようになれば少しずつ改善していきます。
私たちは次に何ができるのかを、いつも考えています。
なぜなら、患者様のニーズと要求は常に変わるからです。
患者様の手助けをし、それが周囲に認められることは、
本当に楽しくやりがいのあることです。

ザ・リッツカールトン大阪の元支配人、林田正光さんは彼の著書の中で、
リッツカールトンのスタッフは自分取るべき対応の基準を
「お客様が満足するかどうか」で判断する。
それには、「一人一人のお客様に、限りなく関心を持ち、パーソナルなサービスをする」
精神が、必要と言っています。
私たちで言えば、患者様あるいは一緒に働くスタッフメンバーは一人一人異なります。
何をもって満足するかはそれぞれに異なります。また同じ人でもその時々によります。
よって常に興味、関心を持ち何をすれば喜んでもらえるかを考えなければなりません。
林田さんは、心配りとは
「相手の心情を十分に考慮したり、予測される事態に対し、万全の対処をすること」。
気くばりは
「間違いや失敗のないように、細かいところまで注意を行き届かせること」。
気くばりは最低限のマナーであり、それを超えた愛のある心配りによって
深みのあるサービスを提供しなくてはならないとも言っています。
それぞれ、異なる患者様やスタッフメンバーが何をもって喜ぶかを考える、
というと難しいかもしれませんが、
患者様やスタッフメンバーを本当に愛し心からその人に喜んでもらいたいと思えば
ごく自然に出で来るものだと思います。
患者様と一緒に働くスタッフメンバーの喜びを
自分の喜びと思えるそんな人でありたいと思います。

私たちのクレド

クレド6

私たちは日々健康の素晴らしさについて
患者様とお話しし、一緒に学習します。

健康学習では、患者様自ら

“知ること・感じること（気づき）”を重視し

私たちは話し上手から聞き上手、返し上手になります。

健康学習を行う時は患者様が抱えている問題に対して

どのようにとらえ、感じているかを把握することが重要です。

そのためにも一人一人が患者様に対して興味関心を持ちましょう。

私たちが、いくら歯みがきに重要性を伝え

食後に必ず歯を磨くように伝えても

患者様がやりたいと思わなければ、しないでしょう。

“私たちは健康が、いかに素晴らしいものである”

“健康であることによって、いかに素敵な人生を楽しめる”

という理想の姿を患者様に提示します。

そして患者様自ら健康になりたいと思ってもらえるように導かなくてはなりません。

想いが先走り、自分ばかりが、話しても伝わりません。

患者様がどんな毎日を過ごしているのか

口腔内に問題があることでどんなことで一番困っているのか

それに対してどう考えているのか

本心はどんな状態になりたいのか。

面談を通じて患者様の声に耳を傾け、悩みをしっかりと聞き出す事が大切です。

それらを聞き出し、健康に導くのが、私たちの仕事です。

患者様が自ら気づき健康になりたいと思い、

私たちの声に耳を傾けてくれるようになる。

そしてセルフケアを進んで取り組んで頂けるように変化していく。

結果として長きにわたって健康を維持することができる。

理想と現実の差はとても大きいです。

私たちのクレド

クレド7

私たちは患者様に満足して頂けるよう、最大の努力をします。
私たちの使命は、訪れた患者様が再び患者様として来院されないこと。
健康な人が、よりさらに健康になるように来院頂くことを目指します。
このために私たちは、期待を超えるよう一流のサポートを提供します。
患者様の治療時間の短縮を目指して常に配慮します。

患者という字は「心に串が刺さっている者」と書きます。
歯科医院には歯が痛い、歯ぐきが腫れた、噛めないなどの患者様が来ます。
しかしティースデンタルオフィスは“ワクワク楽しい歯科医院”です。
ほっぺを押さえ、辛そうな顔をした患者様で溢れる医院ではありません。
笑顔で通い続けてくれるような医院でありたいと願っています。
私たちは患者様の困りごとを確実に取り除き
更なる治療技術向上、最新知識を持つ研鑽。
もう一つ大切なことは患者様に、来院することが楽しみと感じて頂けること。
ティースデンタルオフィスのスタッフメンバーは、
きちんとした対応
清潔な医院
スマイル・アンド・コミュニケーション
を何より大切にします。
期待通りでは、不十分。
期待を大きく超えること。
ティースデンタルオフィスに楽しみにいらして下さる患者様のためにも
完璧ではなかったとしても、私たちは最大限の努力をし続けます。
スタッフメンバー一人一人は、患者様の治療時間の短縮を配慮して行動します。
そうして1秒でも患者様の苦痛の緩和に貢献しています。

私たちのクレド

クレド 8

私たちは少数精鋭の選ばれたメンバーです。
高度な治療技術、最高のケアを提供します。
治療中のテキパキとした動きや、優れた電話対応を見て、
患者様は、私たちの医院を判断します。
私たちは、言葉遣い、立ち振る舞い、顔の表情を含め患者様から憧れる人間です。

患者様が初めてティースデンタルオフィスに来られる時、電話をかけてきます。
不機嫌そうな声が聞こえたり言葉遣いがあまり丁寧であつたらいけません。
イライラしていたり不機嫌だったら電話でもそれは伝わります。
あえて受付の電話の前に鏡を置いて、笑顔で電話対応するようにしています。
良い電話対応を受けた患者様は期待と不安を胸にスマイルクリエイターに迎えられます。
その際に、私たちに笑顔がなければ患者様に期待は台無しです。
最高の笑顔と丁寧な対応で迎え入れた患者様はカウンセリングを受けます。
カウンセリングで話を聞いて貰えずに形だけのもので終えてはいけません。
診察室でスタッフメンバーが無駄話をしたりダラダラしている姿はありません。
歯科医師が高圧的な態度だったり乱暴な扱いをしたりしません。
丁寧な診察を終えた患者様は、笑顔で会計に迎えられます。
その際に、不愉快な態度や単純ミスが無いよう最大限の注意を払います。
つまりどのシーンでも、私たちは誰一人としてどうでもいい人はいません。
私たち全員が患者様に満足してもらおうと最善を尽くすことで
初めて患者様に満足してもらうことができます。
サービスは掛け算です。
一人でもマイナスがあると全てが台無しです。
しかし一人一人が最高のおもてなしをすると何倍にも膨れ上がります。
一人一人が持てる力を存分に発揮し患者様から憧れる存在になった時
私たちはとんでもない力を発揮します。

私たちのクレド

クレド9

私たちは、自分で判断できる能力（リーダーシップ）を持ちます。
院長に「どうすればいいですか」と聞くのは新人スタッフです。
私たちは、「このようにしたい。その理由は…」と言います。
私たちはすべてにおいて情報の「ホウ・レン・ソウ」を行います。

自分で考えず常に人に答えを求める人は考える習慣が付かず人に頼る思考回路の持ち主。
これではいつまでも、人にやり方を聞かなくてはなりません。
考えた末に出た結論は、自分よりも経験豊富なスタッフに聞いたときに
「そのように考えれば良かったのか」と気づき
次から考えるときに影響が出てきます。
何も考えずに最初から聞いていればそのような気づきは得られません。
そうやって試行錯誤を繰り返して気づきを得ていく度に
しっかりとした考え方が身についていくものです。
一旦それが身につけば、たとえどんな局面がやってきても
それまでの経験や考え方を応用してうまく切り抜けることができるでしょう。
経験豊富な人も、時に新人のフレッシュな視点や先入観のない考えに気づかされます。
魚を常に人から貰っている人はその人がいなければ食料を失います。
魚の釣り方を人から教わろうとしている人はその人がいなくても食料は得られます。
私たちは、魚の釣り方を学び、自立出来る人になりましょう。
また、周りの人の意見に耳を傾ける人になりましょう。
常に謙虚で学ぼうとする人は決して止まることはありません。
スタッフメンバーのお間で知り得た情報・状況は「報告・連絡・相談」を欠かしません。
それにより患者様に対してスムーズな対応が可能となりケアレスミスを未然に防ぎます。

私たちのクレド

クレド 10

私たちは「できない」、「わからない」と
はじめからあきらめず、アプローチを変えて対応します。
「こうすればできるのでは」、「この部分はわかる」と発想を変えます。
私たちの力は無限です。
できる方法は必ず見つかります。

電球を発明しようとしていたエジソンは何度も何度も失敗を繰り返しました。
しかし、彼は決してあきらめず、ついに電球を作ることに成功しました。
傍から見ればただの失敗の繰り返し。
しかし、本人のエジソンは「また1つうまくいかない方法を発見した」
と言っていたそうです。はたから見たら奇人に見えたでしょう。
私たちは、1度や2度の失敗で簡単に諦めてしまいます。
先ほどのエジソンのような偉大な人ですら何度も何度も失敗を繰り返したのですから
私たちが1度や2度の失敗でうまくいくはずがありません。
大事なのは、成功するまで簡単に諦めないこと。
諦めなければ、成功することとも言われています。
自分は成功すると信じ込み、取り組んでみましょう。
作家の小林正観さんの「人生を楽しむ」ための30法則の著書の中に
つらい、苦しい仕事を“楽しむもの”にする実例が紹介されています。
帝国ホテルの料理長を26年勤めた村上伸夫さんは、10代で帝国ホテルの厨房に入って
3年間は料理には一切触れず与えられた仕事は鍋磨きのみ。
大半の同僚が不満を募らせ辞めていく中、「日本一の鍋磨きになる」と決意し残る。
いつもなら洗剤で味がわからないようになった鍋が自分に回ってくる中、
やがて先輩から認められ、洗剤が入っていない状態で渡されるようになります。
そこで、村上さんはそれをなめて隠し味を勉強するようになり立派な料理長に。
今置かれている状況に文句を言わず、黙々とやっていたら、
やがてその先には道ができるということです。

私たちのクレド

クレド 1 1

私たちはチームワークを重視します。
そのため仕事を通じて共に笑い、喜び、お互いを理解し認め、励ましあいます。
スタッフメンバーは尊敬できる友人です。
そしてここで知り合えたことを、共に感謝します。

人は一人では何もできません。
できる人はどんな偉業を成し遂げようとも周りの人のおかげですといます。
ダメな人ほど「自分がいなきゃダメだ」というようなことをいいます。
そういう人はいないほうが、物事はうまく進みます。
集まった人が憎しみ合い、いがみ合っていると
お互いに足を引っ張り合い、
人数分の力も出す事が出来ません。
集まった人が尊敬し合い、認め合うと
人数分だけにはとどまらずその何倍もの力を出す事が出来ます。
私たちはお互いの良い所を見つけ合い、
楽しい時には共に喜び、
辛い時には共に励まし合える
仲間でありたいと思っています。
優れたチームワークの持つ力は無限です。
そして、そのようなチームワークの中に身を置くことで
はじめて一人一人が成長することが出来るのだと思います。
ティースデンタルオフィスには、最高のスタッフメンバーが集まっていることを
心より感謝いたします。

私たちのクレド

クレド12

私たちは異論、感情的な行き違いがある場合には、直接、本人に話します。
その際私たちは、円滑なチームを運営していくために言葉遣いに気を付けます。
人の嫌や面が見えた時、それは自分の嫌いな面を教えてくれるシグナルです。
あらゆる面でスタッフメンバーの良い点を見つけねぎらうにします。
人生は鏡です。そしてゆるすことと愛することをそこから学びます。

誰として同じ人はいません。私たちは、その集まりです。
ですから当然、考え方も様々です。
様々な考え方があるからこそ多様性も出て面白いし
異なる考え方を持った人から学ぶ事はあります。
自分にとって受け入れがたい考えをしている相手に対して
何故そのように考えるかを話し合うべきです。
決して相手を言い負かすのではなく、お互いをよく理解し合うために行うものです。
クレドに基づく根本的な考え方がある限り多様性はあれど、理解しあえます。
相手に好感をもって見れば、相手も好感を抱きます。
相手を嫌な人だと思って見れば、相手も好感は抱かないでしょう。
どんな人にも良い所と悪い所はあります。
人の悪い所ばかりに目を付ける人は不幸です。相手もあなたの悪い所を見るでしょう。
人の良い所ばかりに目を付ければ、相手もあなたの良い所を見るでしょう。
最初は無理してでも良い所を探しましょう。
そのうち自然に良い所に目が行くようになります。
そうすればあなたの周りにはお互いを愛し合いねぎらい合える最高の仲間が
集まっていることでしょう。
相手にばかり求めるのではなく、
まずあなたが周りの人の良い所を見つけることから始めましょう。
そして、スタッフメンバーがお互いを理解し尊重し合える医院にするために
明るく挨拶、敬意を持った言葉で接します。

私たちのクレド

クレド 13

私たちはスタッフメンバーとミーティングや面談を行います。

ミーティングは、ティースデンタルオフィスや自分自身を
より良い方向に改善していくために必要です。

私たちは変化することを乐しみます。

また、楽しみながら成長していきます。

私たちは、個性をもつ個人の集まりです。

私たちのクレドの基本の考え方を共有しながらも様々な意見や考え方を持ちます。
個人が持つ様々な考えを出し合い一人では思いつかないアイデアや方向性が生まれます。

それを出し合う場がミーティングです。

ミーティングでは、お互いを尊重し合い相手の意見に耳を傾ける姿勢を持ち

また、積極的に自分の意見を発表しましょう。

新人だから気付く視点、出てくるアイデア、慣れてきたからこそ身に付いた考え方。

私たちは皆で活発な議論を交わすことでお互いの考え方、意見の幅が広がります。

うまくいかなかったとしても皆で意見を出し合い

今より良くしよう、改善しようとチャレンジし続けることが大切です。

失敗をしても決して諦めずに、違うやり方を考えてトライアンドエラーを繰り返す。

一步一步は小さくとも歩み続け大きく成長していきます。

日本の実業家で生涯納税額一位の斉藤ひとりさんの話です。

自分の会社には不完壁主義者しかいません。

完璧主義者は出来ない事にずっと悔やんで自分を責めるか他人のせいにして人を責める。

人は完璧を目指しても、せいぜい78%しか出来ません。

残りの22%は次に改善すべく完璧を目指して努力しようと考ええる。

100%にはならないが、常に改良点を見つけて繰り返して完璧を目指して頑張ると

それはやがてプロフェッショナルになっていく。

だからといって最初から気楽に構えるのは論外。

やるときは、完璧を目指して挑む。まずは皆でうまくいったことを褒め合い楽しむ。

そして残ったうまくいかなかったことに対して次の改善点として完璧を目指す。

完璧ではない人間同士が集まってなんとか完璧になろうと生きている。

私たちのクレド

クレド14

私たちは、問題が起こったときに前向きにとらえます。
問題のない組織は、成長が止まってしまうからです。
それは医院を成長させるための、素晴らしいシグナルです。
私たちは、真摯に受け止め解決に向けて全力で努力します。
特にクレームは全員で取り組んで、素早く問題を解決するようにします。
ピンチをチャンスに変える。
私たちは、できます。

問題があるということは逆に言えば、今よりもっとよくなれるという事です。
問題を見つける能力があるということは素晴らしいことなのです。
満足をした時に成長は止まります。
自分が今どのような立場や状況に置かれたとしても、何かしらの改善点はあります。
目の前の現状をどう見るか、解釈は無限です。
同じ現状からただ何となくやり過ごす人、悪いように考え、落ちこんでしまう人もいれば
何かを学び改善してそして成長できる人など対応は様々です。
コップに水が半分入っている現状を
もう半分しかないと考える人もいればまだ半分もあると考えるか、個人の自由です。
私たちは、前向きにとらえもっと成長していきます。
クレームは私たちに期待してくださりもっと良くなってほしいという気持ちの現れです。
もし私たちが本当に嫌なら、何も言わずに他院へ移ってしまうのではないのでしょうか。
ピンチをチャンスに変えるには、常に何事にも感謝の気持ちをもって
プラス思考で対応することがとても大切です。
言いにくいクレームを言って下さりありがとうございます。
そして改善することで個人としても組織としてももっと大きく成長していきます。
難しい時もあるでしょう。しかし、そのように行動する人に成長のチャンスはあります。
私たちは、医院の改善のために積極的に発言し行動します。
常に前向きに捉えて、仕事に誇りを持つことを忘れません。

私たちのクレド

クレド15

私たちは、いつも次の事を心掛けます。

大きな声で、挨拶します。

否定的な意見は言いません（前向きに物事を考えます）。

与えられることではなく、与えることに喜びを感じます。

他人の批判は言いません。

怒りの感情を顔に出したり、周りに振りまきません。

いつも感謝の気持ちを持ちます。（ありがとうの一言を添えます）。

自分の非を認めて、素直に謝ります。

嫌なことがあっても、プラス発想で解決します。

このクレド15は非常に大切です。

大半は、頭では理解しても、実践していません。

1つ目の“大きな声で挨拶します”を例にすると、

私だけ大きな声で挨拶しているのに周りはしてくれない、

バカみたいだからもうやめよう。そうってしまうのではないのでしょうか。

自分以外の周りが全然応えてくれない中で、自分だけがやり続けるのは、

非常にエネルギーを要する、大変なことです。

しかし、それは“相手に何かを求めている”ということ。

3つ目の“与えられることではなく、与えることに喜びを感じます”に反します。

大切な事ですが、“人生は鏡です”。

自分以外の周りが応えてくれなくても、めげずにやり通す。

その姿を見せ続け、何かを感じてもらうことしか出来ません。

それでも何も感じて貰えなかったりした時には、そのことも受け入れましょう。

可哀想な人だな、自分はそうでなくて良かったぐらいに思い、良しとしましょう。

そのうち何かを感じて、応えてくれるようになるかも知れません。

このクレドを常に心掛けて、周りの人にも何かを感じてもらい良い影響を広めましょう。

人に与えようとする人の周りには、与えようとする人が集まります。

私たちのクレド

クレド16

私たちはティースデンタルオフィスの文化を尊重します。
すなわち、全ての人に親切で礼儀正しい態度で接します。
いつも医院に活気が溢れ、そこで働く私たちは、やりがい、夢を持ち続けます。
私たちの心をきれいに保つため、医院全体を常に清潔にします。
私たちは仕事を通じて自己成長を続けます。
そのためには、仕事を楽しむことが大切です。
私たちはいつも文化に沿った判断行動をします。

人生は鏡です。
親切で礼儀正しい態度で接する相手には、
普通、礼儀正しく対応するものです。
私たちはどんな相手に対しても親切で礼儀正しい態度で接します。
そうすることで、私たちの周りにいる全ての人が快適に感じ
巡り巡って私たちも心地よく過ごすことができます。
やりがいや夢のない仕事は、単なる“作業”です。
一日のうち最も長い時間を私たちは仕事をして過ごします。
そんな長時間が、単なる“作業”であるならば、
それは人生の損失です。
夢ややりがいのある仕事には限りない可能性が秘められています。
人が心に思い描くことは
諦めなければ必ず実現することができます。
また、医院は私たちの心の現れです。
医院がきれいだと、心もきれいでいることができます。
医院が汚れていると心まで荒んだ気持ちになります。
人は仕事を通じてのみ、成長することができます。
夢をもち楽しみながら仕事をしていけば
それは自分の成長につながります。

私たちのクレド

クレド17

私たちは、積極的に自らの目標を具体的にメンバーの前で発表します。
そして紙に書いて目の届く所に貼り、再確認し進行状況をチェックします。
これは人生で成功するために最も重要な習慣です。
私たちは、ティースデンタルオフィスにおける個々の存在価値を明確にし
その価値を高めるために常に努力します。
私はここで何ができるのか、また何がしたいのか何を要求されているのかを意識します。

自分が欲しいものが分かっていない人はそのものを手に入れられません。
私たちは、自分が求めていることを、時間を割いてでも考えます。
自分の目標を明確にしてそれに期限をつけることで達成する可能性は格段に上がります。
そして、自分の目標を周囲の人にも公言します。
そうすることで周りの人スタッフメンバーからのサポートを得ることが出来ます。
また他のスタッフメンバーの目標を知ることで、そのスタッフメンバーの力になれます。
お互いがサポートし合うことにより目標達成はさらに近づきます。
目標を常に意識するために見えるところに貼ったり、朝礼で読み上げます。
潜在意識にまで刷り込むことで無意識のうちに目標達成に向けた行動を取ります。
私たちは、常に目標を意識してお互いにサポートし合うことで目標を達成していきます。
そうやって人として成功することのできる場でありたいと思っています。

私たちのクレド

クレド18

私たちは健康創造型医療を実践します。

このため、虫歯や歯周病の原因論を患者様へ分かりやすくお話し、健康学習を行います。

また私たちは患者様が少しでも安らぎと心地良さを実感して頂けるよう、

誠意ある対応を心掛けます。

同時に個々の能力の向上のため、常にチャレンジ精神を持ち続けます。

ティースデンタルオフィスは、予防を中心としたワクワク楽しい歯科医院です。

ただ単に虫歯を削って詰めるだけだとまた新たに虫歯ができ削って詰めるの繰り返し。

そうならないように私たちは虫歯を治すのと同時に

歯の磨き方や、虫歯の出来方、食習慣などについて

写真やアニメーションを使って患者様に分かりやすくお伝えし、

二度と虫歯にならないような環境を整えることに力を入れます。

慢性疾患である歯周病についても同じことです。

再び痛いところもなくつらい思いもせず笑顔で来院していただきます。

悪いところがないことを確認しきれいにお口を掃除して

気持ち良く帰って頂くことを目指します。

私たちは患者様の辛そうなお顔や不快な表情を見たくありません。

全ての患者様が虫歯の再治療や歯周病のない、

笑顔が溢れる姿を強く願います。

そのためにも、患者様がお口のケアをするお手伝いに全力を尽くすと共に

患者様一人一人のお口に合わせた対応にも十分配慮します。

私たちは患者様が来院日を楽しみになるような歯科医院を作ります。

常に自分の仕事や行動が最適であるかを確認する習慣を身につけて

スタッフメンバー個人がスキルアップに向けて勉強していく。

そうすることで人間性が向上していきます。

私たちのクレド

クレド 19

私たちは患者様に対してヘルスプロモーションを実践します。

ヘルスプロモーションとは、患者様の一人一人が

自らの健康をコントロールし、改善する事が、

出来るようにするプロセスです。

私たちは、患者様が健康の坂道を登り、セルフケアの確立ができるよう、

様々な形でお手伝いします。

最終のゴールは、健康のみならず、QOLの向上と考えます。

私たちが、患者様と一緒にいることが出来る時間はほんのわずかです。

健康には、医療人である私たちのプロフェッショナルケアが必要ですが、

私たちが患者様と一緒にいることが出来るわずかな時間だけでは

患者様の健康を維持することは、とても困難な事と思います。

よって、健康の維持にはセルフケアが欠かせません。

だからこそ私たちは、一緒にいることが出来ない時にも、

患者様が健康を損なうことがないように

セルフケアの方法をお伝えしたり、確認したり、アドバイスしたり、

様々な形でお手伝いします。

そうやって、患者様ご自身の健康を

自分で保てるようになってほしいと、願っています。

健康の定義は、WHO憲章にはこう書いてあります

「肉体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあること」。

私たちは、患者様が肉体的、精神的、社会的に完全な状態にあるだけでなく、

そこからさらに、楽しみを見つけたり、生きがいを見つけたりして

より豊かな人生を歩んでくれること（QOLの向上）を願っています。

歯がきれいになったことで、おしゃれをして外出が増えたり、

しっかり噛めるようになったことで、食事会にも積極的に参加したくなるように

イキイキとした患者様が一人でも多く増えることを私たちは、心から願っています。

そのきっかけに私たちに関われるよう、努力を重ねていきたいと思っています。

私たちのクレド

クレド20

私たちは、私たちのクレドを受け入れられない場合は

他のスタッフメンバーに相談します。

他のスタッフメンバーはそのスタッフメンバーの要望していることに対して

誠実に耳を傾けてそして、ベストな選択のために一緒に考えます。

ただしミッションに対する妥協はしません。

また、2ヶ月に1回の定期的な個人面談を行います。

私たちのクレドや個々の目標の達成には必要不可欠です。

私たちは毎朝、スタッフメンバーと全員で読み合わせを行います。

当たり前としてではなく人のために役に立つためには大切なことだと思います。

やり続けることでやがて大きな成果になって現れることでしょう。

一人一人がやり続けることの意味を考え、

そして、真面目に素直な気持ちでコツコツと実行していく。

日々のたゆまない小さな努力と、いつも自分を冷静に見つめ直すわずかな時間が

大きな目標の達成には必要なのです。